Nagoya University Library

玄仍七百韻

名大図書
911.2
Sa

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
1 / 44

Nagoya University Library

911.2
G
440

44015

新うもしるすこさ京玄仍名所

いくあとかすみ山の春の月

秋をさ萩のそよさに夏冠

月一度の独吟露におるそら

秋やそくくく柳に涼しん

野を庵の吉野をこそ思ひ

わすれぬ思ひの面影うつて

星のわくらの道の常もし

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
2 / 44

Nagoya University Library

霧や猶かすむ秋とはしらるらん
日くれはしらぬ鳥のなく／＼
おくふかき竹のそのゝはてもなし
くまなき月やすみかなるらん
賤はいまたくまなく神なひて
こゝろある色の道をまよはす
見なれつゝ涼しき風にこゝろ哉
月ならぬとこそ宿は露けし
はるかなる笛の秋の声
山里のひともしらてちる芒
日かりはかくしたき薪は
夕のまくらにいりちるまし
朝露こさきみぬ花にほひさそ
ちりまさる桜の木かけのみち

風さそふ露とこそやもとめてん
千すしのいまの日はほのかなり
うきところのはしの浪のそこよ
ころよりけしもあとむしき葉
落りし秋の田の苗をすて
はそたれてしもつれ紬
あくる東とゝもの雲のおとろし
笛さそ人とこゝろもやしき
おとなはかそれし夜の月にぬれ
月のこさ秋さへ露よりさよ
秋にしもすさらをなく夜ぞん
けりさ紀にふるすかゝり
とさ見さし年もたしたなるかそ
いりまてゝさて汲て袖にまきる

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
3 / 44

舟さしてあしの迫門をとはゞや
朽舟はさとしもあらしに苔
香とめし尾上の鐘に花落て
暮よりのちはゆかし古寺
永き日にはやこゝろもとなけれ
ゆかし御かとゝいかなる道
すみそめの衣の色はあはれにて
まとくちに身そあはれなりけり
えけちかやさしにけるそもみてさん
秋のこゑ鳥のいくもとかへり
風さむき山は霞野のゆふへかな
篁もたえうすき夕のかけかな
とはいくやことかへしつゝ枕かな
わかな衣もきぬしいそまし

ちかひてし詞のすゑくやしくもなん
ちゝともの人とまかはくて
うき世にそむきなくさめそうき
おもふそいつの子そ衰成
宇治山やふしもかゝる行末
月ふけてさきあつけさの雲
時しきあれ夜のあるに月あそ
秋の木の葉散るしきの宿
袖はこそ香に匂しあらはの菊
まろねし夜や酔のかこてい
かりちぬにあく秋の実ありて
猿はらんのまうちすみかのを
いるかん冬の色ものみちえて
冬のこしあへぬ行清まりけさ

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
5 / 44

Nagoya University Library

仏すゝしに夏やとゆかりの枕とく
まちよりてのうとゝ[illegible]の等
玉ゝ井やもとゝ方にゝ門ゝ[illegible]
ゝゝのすゝしけれとゝ[illegible]をゝ
日ゝすゝもれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ代ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
唐にゝゝ先ゝ一人も立ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

付雲井二句

長宣

中二

夏の月ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
郭ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
6 / 44

秋もうら枯柳くれに立さとき
月ははいつとさしてまそなく
別しは遠けるまて見えそらて
身かもいさゝに老の木のした
夕くれの宿りとふよるおくは
ほころちまさは常志けさ清
ゆく舟やかゝりたる大にまうすん
梅ありしのはらの宮のわけかゝ
色こそうき葉の庵は哀しく
志けき末多くけりもくささ
数の者や秋の夕もおもふらん
風ふしまうせ露の下みち
和阿良う野の末は尾く空をも
わしにいとゝうきさ川ちる

るゝやくもの露の見えことこえやらん
幾代の夜ら夏をとゝまうて
言の葉は絶えてうつら宇治の里
こゝろの山や馬もゆくらん
道はうけゝはらのおくは
わか国のわせの雲のむらく
夕になる秋もよしきの霧ちかい
閨の中しるに月のあけにさ
身をりしそてし木の下紅葉らし
こゝろすゝむるあはれとしみえ
あらしの音今かいに入やて
まきのうちにきて年く
うきせ今なる紅葉の山のおく
はらゑしかりそう峯の松風

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
7 / 44

Nagoya University Library

[illegible]
大井の宿にすまいしたりし
川霧や月の光をうつすらん
秋のてらのあとはさにたち
いくかはつるる田面の雁の声
わけてなるふるもしの面影
草かりに木こりの神も物思
野をとりて雁の声やけたるに
こそやて雁のこもりけれわけ
花てをこそ
古をのいくもの子も語りて
象にすす那的の上
引塩のをとりて
高砂のうんそもりな

朝附けるは宿の
咲けくまのの白菊
萩ばかりなりなる
野分のわたはるそき虫の声
なるそわるはの月るん
まるるる月を秋はきにそり
まるる中のわるさもの
なるるけさつ猪の明音
人の秋そけてや秋下れ節
まるいそけるさ
ものいなるしいの
いるるもの月やるまる
なるるの陰
はるいやいそんるるまのけ

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
9 / 44

Nagoya University Library

ゆはるの霧のいつくに成ぬん
をしき川とも月もりに
若葉たちまいくとまの色の春
みそしれりしそこはすさ
弱はて行井のすゑに放ちい
うれのすゑやりく者く
ちる花は小の流るの志ゑに
そこにたりむ川はるの流

十四句
長二

水の泥にそとわ〳〵ゑ
ゆ〳〵蘭の花し川の行末
川岸は柳にまち〳〵
花もまたまに白と江
月と行久さや蓮くそん
かりもの神そとゑ先ん
川とわり弱と先ん
初年一の節のまち〳〵

廿三

Nagoya University Library

萩さけり清に一夜のさまり
秋に添き道の露をしい
露やそ代のさに成りん
霧のうちのまに〜ふるなり
月なき夕つかの朝けに
里のうしにかく知る花
玉門のうまの米なりて
みりうちに千里帰り
志賀心におりのとも世やつらん
袖すりもそれ御光り
ちるへは色をうつりて思いち
つちうちにはたちうや
ふ言ともあ〜せ月の花の岩
ふ一若本れ内ちく〜

長さや浜の浦波の寄ちん
秋のきすはは一夜ふ志
飽も名をうつりの山ちよ
すきやく世り立ちきわち
大原や里ら未しく
戸分田西りをさ麻生
方〜に紅葉ときて秋の代
露ちり雲おちらちて
菊はうらはうも
わきそしこのみらはも
ふ代おれとも
きれりきしく鄙
かりの秋も原つ
ちのに浦
ちのの人のちらの元

ふかきやうかまても山し花盛
おろ行しその風志けるら
雨やそゝ雨にぬく晴ゆらん
こゑしけれねまとゝれの露
月さとみつ国のけちひ志るやは
夫ひらくはすになれしさ
名はまく人笛心さきう衣
袖ちりうすも扇たちくれ
別てのはてまちう君にあれ
わか世にうつもしうくうね夜
祈りけうゝ冬やさにゆんてさらん
しこきにそれみむもしろくそ
浅らうすまさつ道ハ志るきや
うけくもよ空のとりし光

月の空わさも独もてうかまし
あ人つりちうき来もいさ
うりきせし仲寝も言ふられ
雲をしにうつき行すのく山
ほく花ハ松の梢のさくに
おくりのみつさ秋うさの春
二きしやゝね留に鶯のなさやく
わさ帝人やうむしさうらん
源ハうゝ志けりけしにくと居
ハうちりはいうくうち居話
国くハ人まつかりぬるいそ
るをに面ふつる大よの海
うらハゆうらなやそく空て分きらん
志け人まゝの中のはしは居

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
12 / 44

かりねは梅の句のかせしるくよ
ゆきしもわかれぬる山かけ
桜花やちりちらん霞さへ
春なりし花の錦さこそあら
糸うしやかりはしなき衣くよ
に来の句なりや月にふらん
契りしは名もしき人の秋かし
ましけてきま人野の名よ右
林霧まく霧やとて山かう人
秋川のうら東ともさ江記
深しさやかけ来て高き流の暑
水まさりつすうくなら
ちりわく名帰中道にて高て
かよふ部桜の庵ハ見ゆらし
人みしぬる山ありしか笠雨り
こゑかたにつん高のしたふか
冬の夜もねなつつそれ身ある
なかなか身うく露霜おきて陰
松一木風の音ややすさん
舟はくてよふ志賀のうら河
雲晴る野ぶきかぬる山に白衣く
時雨しくる秋の中の更
冥途は深きいかなるやきけらん
志はもなくさしその権
和泉ちと泣は飛銀のうらさて
うらそひなりし霜ぬれてしもく
宇治川やはの流の流とゆかれん
行かし夏さき橘の末く
Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015

ゆふしきの岳にあゆむ袖みえて
風こそいさめれし朝かすみき
うつろふや千すちる花にたちそゑん
ちりはてさらに若のみちをそしれ
花すこし高さ木のもとにわかれ
露わけかへにほひさそふ
雨にそへつ野分なかれそぬれなし
常むすひつけつゝ涼み

拾句
長三

廿四

若竹のなさけみえし声はしからし
袖も行ありつ月毎に露
葉末宮やさそはむ更けれん
月ハそてもくらき木のもとし
谷ふかきハ露のかゝるいく
よそにもとりさ秋の山舟
千名の葦打つゝきの葦海り
いくすゝ霞の玉まつはれん

はつの葉のしをるゝもをしからん　玄
思ひむすふのみちそすゝめける
麻手かる山田の原や更ぬらん
しけりそまさにすゝしくもなし
夜な夜なに秘密の清水にこそしく
くらきそかゝる末の末まて
行程も村や秋草も残りし
今はまく浅茅にふる大空の
なかかよふ行路は秋さひし
霧まよふの月はみつる今宵は
思ひ今さしに枕の露ふかき
秋やの衣ゆかしみ渡りて鳴
あはれにし公家もすゝめの花の霜
苔むしるまてあとはむしろも

手まくらもかゝる独の旅のさに
数々にしもよそ大和哥
よそ忍ふ谷のふせ屋もあれそいて
うつろふのあとにさそはれて
まよふもなをそこそ絶えし
濁りける今こそとまさ新まり
おもひの身に成る心の袋にて
例なきさらしかしも頼にくら
わきつるゝ涙もすゝまさ衣
袖はすみさにいさよふ露そ
月にたく扉るゝさ秋おもひ
今さんといひし秋もまつ
猿なれしさをのまくら山嵐
交古のくらもやさしく成

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
15 / 44

Nagoya University Library

山ゐやきたれの雲とうすけん
伊勢のうけ公をたてわすれ
友にくれくれまよふ所の春
ずさうとうやる男ゝ遥々
こうしゝ水のうしゝわすれて
ゝうこのもとの流をわけ行
袋花は散りやはきちしん
ゝ山に雨はきうゝ中で
三輪山やふるき家もし
すゝ之ゝ中こゝさゝ初時訪
年秋のゝ忘分ゝに年こゝ
咲ゝかりはし秋の秋原
ゝ山の家をけうゝ
ゝ谷さうにゝまうゝ神

月にすゝしかりけり文歌
けりはゝそくうゝ灯
弱毋やゝ朝まて波にゝうん
ゝきゝうゝ月雲恋仇
ゝ夜みゝくゝ雲に信
ゝうゝさゝけり日毎のゝ
昊平の雲やゝもけに秋ん
ゝ月花ゝくゝ行のゝく
花ひゝうゝりゝ鳥の琴
歌のゝうゝさまゝやゝもゝ
ゝくゝ野山ゝけゝ詠て
ゝて山つゝさゝ月ゝにの
ゝうゝ月ゝ毎ゝうゝまゝ
袋に付ゝ花ゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
16 / 44

ねられしにさそへなりし中なりし
曉ハしこまかもしけしやハ
池水に明くれつきぬ秋の月
物のゆめ時の鹿やかへるらん
うら枯の荻ふきまよふ蘆て
風涼しきさみえぬそらの
大和の嶺や霞の方ならん
冬すさむ里はけぬかく山のうけ
ふけらても松の木のした八重こはよ
まじまる事ぞ鳥なきさん
くるとしの人の頃に志ひして
素秋の宿をはらし吹しそ
まつにも花のまはそこはれし
露やたてる百千人の草
秋さへやまつうらやまし秋ハさて
月中はいそらうちわたりのこハ
こは東ハ女うつくしきさまし
いつかりにうはそらすかも
つまるまきやへの後てみれん
志つみしる紙はそひ先かな
年なとく繭　然にゆきは碑
すゑ八すまうくれし家衣山
つまししとくいさへにを衣ゆらめ
夕の鳥そをいたすむら
はやれりしと作りにさりやて
花さく梢の色に梅そ秋
朝湖のいつ高部風ハさくに
けふりさうしに水の泉へ

Nagoya University Library

けさしの竹とやまぶきうゑん
ちいさき丹はそこみてすみ
うきさにけ出めるさ穂の月
さいくさうろ秋の村雨
よんのとや月のしめつもとん
やこしもきく行馬の上
花に咲ひとなとも定とち
けらわうまの春はしの業

拾七句

長二

神人

宵月やそ打をうう宿り小
かとは葉ぬ志りそうみり
ん玉ゝ多野の井のうそ
ちうしのごとり神のしら宮
けなけりうやを氣のうちち
のうろうなくまちち行
山のしにうあかるの東ちく
つしそしもかり添ちち

Nagoya University Library

吉野の霧晴ぬ紀の浦伝ひ
ふもとにそよく河への村
里とをちいさゝ舟はよせつゝ
岸まつりたつ柳に鶯ゆく
飾ことに雪にかゝれる庭の色
花ちり吹これ松風の音
されしさや春れ泥の緑すらん
のどけしさ草葉のさしも又白き
おもひすさは波に手むけ日の下
御代のすゝ佗しくらきて
古さの梅や鶯くるらん
何のまし成りけの山風
筆みくに霧たて数書て
くる形みえて紙料よう居

詣きて夜くるゝもすゝめらし
うしろは根は浅き苔むしろ
うれ浦もうつ人は霧に取りく
露も春はゝくもとく見るさ
くらえは今松風の月さひし
うき世は友とおもふあり
いへに深きは紙をせよや
すさみつゝすまや神のゝ袖
わかめく谷のいさましまのし
さりとものを語る中さき
兎為になほはきりゝ取り
みつしけゝしる夏山の零
きられて桜もうしも草
くりし吾春もうち紙わゝもの

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
19 / 44

Nagoya University Library

永き日とて春の庭にはたらくこゑ
たゝ庵さてゆうとゝ
ものうられけりひとつ
ひとつ独しすみ
すゝ屋の何とゆかしく
ゆけわうまてはいとゝ
いとけるさ葉やとの
ひまうへきうまゝ
うらうら江八ハ
ちゝうのゝ
月みしもゝ
わゝの月れ独に
さゝ娘の衣の
くゝとうまれ柳れ糸

ゝすゝわう露や
うう光はうれ
枕さゝく
さゆうゝさうさ
月の花ゝ
よりのりはわ
長さや秋しゆ
ゆうけ節
月かゝ柳の
うゝもしも
酔やゝ
ゝひすてゝ
極ゝ四面
せゝうゝ水の

つまるや浦のとまり池はるく
こゑいつるは山しるみ文
そことなき九常木の陰にて
なかるゝそとのみてこゝろも
秋の野にひとりしつ詠やなかるらん
霧の内さへ風のまよふく
うき世秋の葉分わかに月もらく
なくるのけはこゝしみえすも
草のかくれし大かたを近に
つりのさとすやさえしあらん
去りゝなみ淀しらすゝに見るとく
うらゝ月さして平りてゆく空
花の後にゝ千すみ嵐もゆるらし
ひそりけのゝ春れ山すゝみ

きのしきとや垣しゆや晴らん
わきれしくハいそて摘そて
咲ちひて色ひとゝはさ宿の菊
内にさしに秋のこゑそ軒ゑそう
露ふしも初尾花まねらく
まてれし月に音さへ苦
山くふの枕にましけりちら山
こゝさき御幸の袖のあときゝ
霞うしやるまけてもいそらん
わけちそにこゝろそりけいく節
けむしはむしら村の末つけて
かくや田中のつゝきなるらん
今は今夏深く成さて　柳
すゝのさとりつく　卯花

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015

Nagoya University Library

人かずの山ぢにて
ここもはるかなる峰に
住すて里分ていき秋の月
うつしそりのこゝろわさは
後さくらはさいさう独の友
のりをはるんうゝ
まつ秋の夕あの内にて花ぬく
ゆ者をまつてこゝろくら

十六句

七一

十六

市野の秋ふるさとおもふ
名ばかりもとの夏者の原
活水やたゞせにうりもく
る里にそゝ月時雨
あさなゝ田舟しすゑ海ぢん
ゆきにつく星人の神
弱ゝたゞの月をまて
まれかりとの道のま

Nagoya University Library

[illegible]
[illegible]
[illegible]

Nagoya University Library

逢の鐘もさびしき寺の門
いなみにこそとうりかなるも
うたてうるはしきの事をうらん
思ひつめ人こそうらめやすき
はけ方もまもるとて変らん花を
うらうえるさにはうらん人をも
時をうらうる秋の花野の夕暮
月をひとせうる宿の川なみ
はるさきに秋の東やとしたん
ありあり春一度の帝のめぐ
うものさわ編笠の歌
ゆりそまうしけ石のたてけ
見へうしいちんうるやうらん
夏をうしうるのぶ狂ちのぶ

花ゆりかの歌にはうけ食をうて
なくくうをうの元
くうさやいうを十市の里うん
かうまもうをかもうをもうを
うをうても思ひつうさし紅に
まうにむうのうさしたの月
ひのうまてうこて分うん独の家
月にうやうやうやう稲をもう
花の色にわうしうをうをもう
うをうさもうをの梅にうれて
ううの馬ふうをうれて行にうう
すうれを向けハ言をうう庭を
朝ゆうさやけうを海の夕庭を
はうのをうれ独のうう

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
24 / 44

Nagoya University Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

Nagoya University Library

拾八句

長一

七

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
26 / 44

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
27 / 44

Nagoya University Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
29 / 44

Nagoya University Library

田ちよ　柳ひけ
ちりぬいろ　ちりぬ
ぬれ　ぬれ　ぬれ
ぬれ　ぬれ　ぬれ
ぬれ　ぬれ　ぬれ

Nagoya University Library

[illegible]
[illegible]
[illegible]

Nagoya University Library

[illegible]
田面のかすみかりはかせれ
[illegible]
鈴鹿の山の雪の明ぬる
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
言の葉のとゝはせて
玉ゝはしの形見あやしもー
手枕の白ひもの
[illegible]
月のうへの
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

Nagoya University Library

[illegible]れ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

Nagoya University Library

[illegible]

付墨井宣句　仕内七三

紙札　点十句内七一
名主点十四句内七二

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
34 / 44

Nagoya University Library

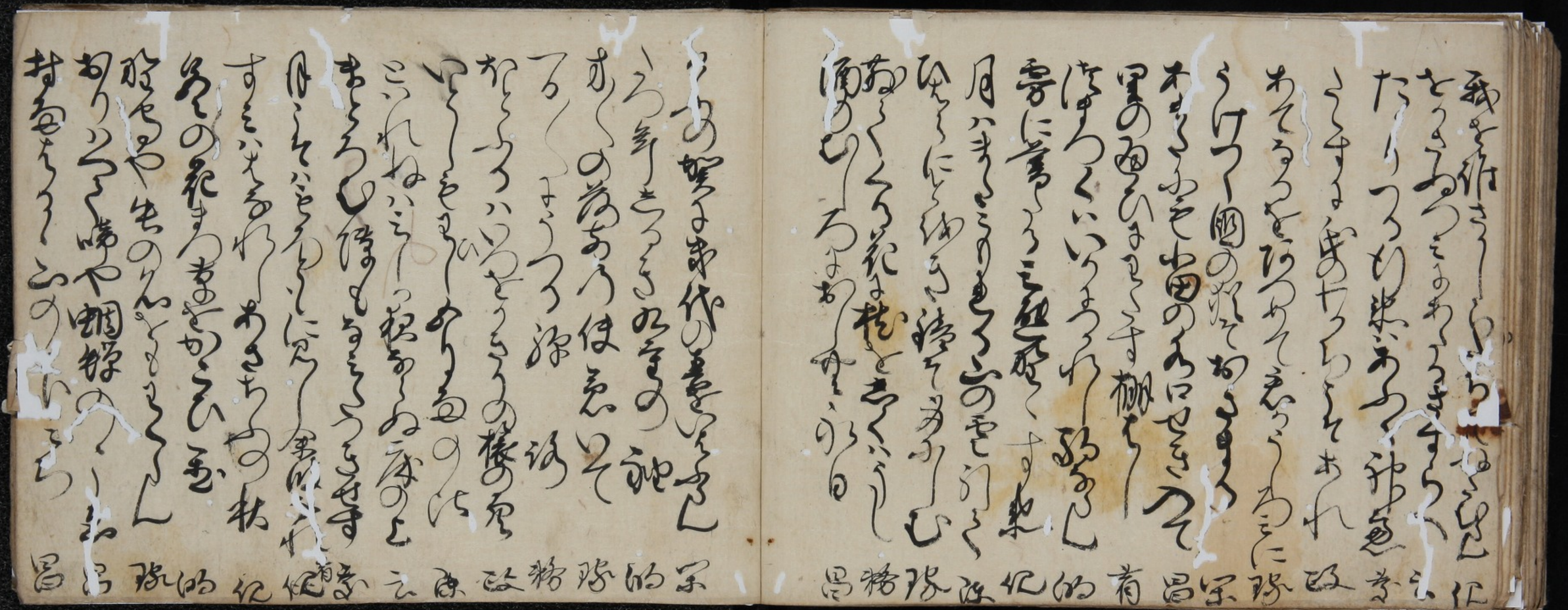
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
35 / 44

Nagoya University Library

[illegible]
花のはるかぜ　仍
あ[illegible]も春つひ[illegible]　元
春よりなをもとしぬる　物
わひくてうれしかりけ[illegible]　源
ひ[illegible]ひ[illegible]なし　政
ひ[illegible]　為
[illegible]　昌
[illegible]　家
[illegible]　仍
[illegible]　隙
[illegible]　元

[illegible]
ひとりぬる[illegible]　仍
[illegible]　隙
何[illegible]　家
つ[illegible]　昌
老の[illegible]　為
月の[illegible]　家
[illegible]　政
[illegible]　物
[illegible]　元
[illegible]　源
[illegible]　政
[illegible]　為

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
37 / 44

Nagoya University Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
38 / 44

Nagoya University Library

りわさう雲の色に
田中川雪や清きそうん　此
きもそう竹の葉の清きそう　同
毎うにかゝ柳さうつけ　右
海さうはすみかそこの清きて　同
行くさつ　同こゆる神　此
雲のやつしかもふ新のうさた　同
すてにけ　右
わさうる浅茅ね　同
とさうにかゝさうにかゝ　此
あけすもえにわさんれ　同
よりひのなそやりひそ　右
見れさうのそのそこの流て　同
このそうふ雲の明かの　此

宮にさうにやさうかそ
老さうはさうふ年もさう　右
かもさうふそは清かさう　同
そよいのもそ雨そさうかす　此
月見わまりにさし雨の家　同
さうにさう流のさうさ　右
惑晴はは雲さうさもく　同
雲をまさうの明見後さ　此
晴は煙さゆる雲のいか　同
さうまわさすさうの雲の　右
さもさう羅ゆさうさ使ひよ　同
かくまれかさうさわひさも　此
京陸のさうのよ陸は神く　同
雲を雲をさうの仏　右

Nagoya University Library

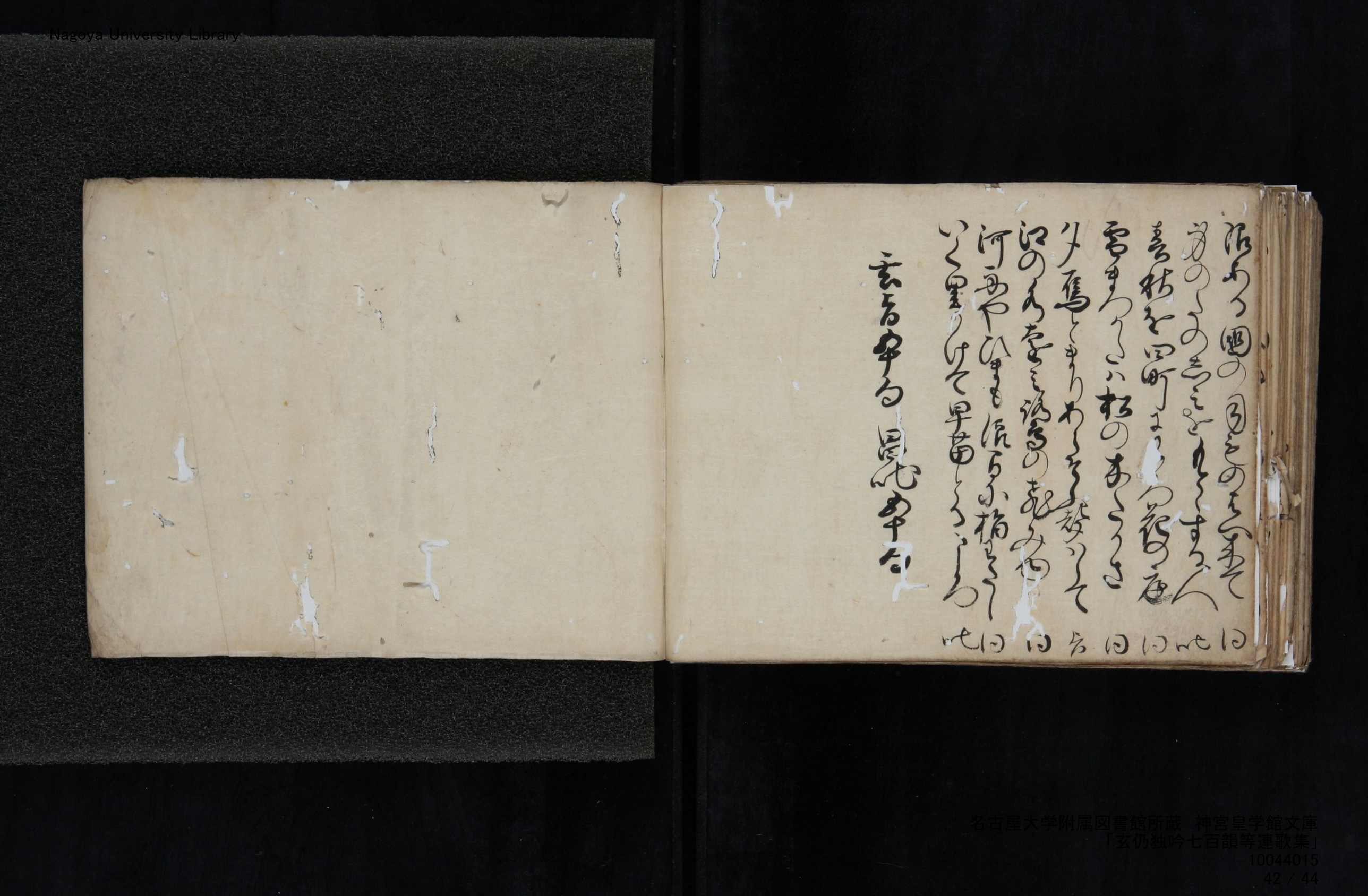
[illegible]つけ初の[illegible]に
[illegible]沢水の日のクレのけ
[illegible]きけ[illegible]略外[illegible]の[illegible]て
[illegible]れ[illegible]つ[illegible]の[illegible]て[illegible]
[illegible]けて[illegible]
[illegible]の[illegible]や[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]れ竹の[illegible]れ梅と[illegible]
[illegible]花とゆけ[illegible]
[illegible]け[illegible]
[illegible]
[illegible]て[illegible]
[illegible]て[illegible]
[illegible]て[illegible]
[illegible]夢[illegible]
[illegible]

[illegible]のけ[illegible]
[illegible]れ[illegible]に[illegible]や[illegible]
[illegible]て[illegible]せ[illegible]
[illegible]ね[illegible]
[illegible]
[illegible]

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
41 / 44

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
42 / 44

Nagoya University Library

334
8

神宮皇學館大學
28567
昭和20. 1. 27
圖書

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
43 / 44

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「玄仍独吟七百韻等連歌集」
10044015
44 / 44